

協会ニュース

2024.3 vol.72

目次

- ◇ 2025年日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会 実行委員長就任 ご挨拶
- ◇ 研修報告
- ◇ SNSについてのアンケート集計結果報告
- ◇ 病院紹介
- ◇ 石川県避難所支援活動報告
- ◇ 次回研修案内
- ◇ 編集後記

2025年日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会 実行委員長就任 ご挨拶

三重大学医学部附属病院 小坂絵里加

皆様こんにちは。このたび日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会2025三重大会の実行委員長に任命されました、三重大学医学部附属病院の小坂絵里加と申します。

会員の皆様、関係機関の方々には、日頃から当協会の活動にご支援ご協力いただきまして、本当にありがとうございます。

全国大会についてですが、MSW中心の学会として毎年行われているもので、自分が持っている知識を確認したり考え直すことができるとともに、あらゆる分野で活躍するMSWの実践から新たな発見を得たり、課題を共有できます。それはもちろんのことですが、何よりも普段顔を合わせる機会がない県外の同職種の方々と直接お話ができるとても貴重な場でもあり、コロナ禍となる前は観光も含めていつもわくわくしながら参加させていただいていました。今年やっと感染対策の呪縛が解けて久しぶりに東京まで出向きましたが、本当に有意義な時間を過ごすことができました。交流会でちやほやされたこと(オープンチャット参加100人目セレモニー)は一生忘れません。

全国大会の運営スタッフはどこを見ても皆さんが一致団結していて、“こういうのいいな”と思う自分もいたと思いますが、まさか自分が運営側で

携わるとは全く思ってもみませんでした。私が医療ソーシャルワーカーの仕事をするようになってから、もうかれこれ13年以上経ち、理事に就任してから8年目となりましたが、このような一生に一度あるかないかの大役に任命されたのも初めてです。

三重大会がどんな内容になるかはこれから徐々に決まってくると思います。今はまだ不安の方が大きいですが、来年の大分大会運営スタッフをはじめ、これまでの開催地の実行委員の方々に成功の秘訣を教えていただきながら、早く不安より楽しみが大きくなればいいなと思っています。微力ながら実行委員長として精いっぱい務めさせていただきます。

実行委員は随時募集しています。何か一緒にやりたい、少しでも手伝えるかな、など、ちょっとでも気になっている方は気軽に声を掛けてください☆ぜひ三重大会と一緒に作りましょう!!いつでもお待ちしております。

長くなりましたが、これから2025年の三重大会までどうぞよろしくお願い致します。



研修報告

初任者研修

日時：9月30日(土) / 場所：三重県教育文化会館

- ①『医療ソーシャルワークと記録』
講師：落合幸太郎氏(藤田医科大学七栗記念病院)
- ②『生活機能障害とソーシャルワーク』
講師：脇海道友美氏(伊勢赤十字病院)
- ③『支援方法論 チーム医療と地域連携』
講師：久保信裕氏(鈴鹿回生病院)
- ④振り返り

日時：11月11日(土) / 場所：四日市市文化会館

- ①『支援方法論 入退院支援とアセスメント』
- ②『支援方法論 面接技術とマイクロ・メソ』
- ③振り返り
講師：岩手県立大学 准教授 伊藤隆博氏

今年度の初任者研修も無事に終了しました。
受講した方からの感想のコメントをいただきました。

全3回の初任者研修を終えました。医療ソーシャルワーカーとして身に付けるべき制度知識や、グループワークを通して面接援助について教わることができました。何よりも対面で初任者の方々と共に学び合う機会があり、刺激を貰うことができとても良かったです。コロナ禍により対面での研修は久しぶり行っていなかったとのことでしたが、今年度は「顔の見える交流」をテーマとして掲げており、対面での交流を図ることによって、より連携しやすい関係性づくりができたのではないかと感じました。

研修後には研修で知り合った医療ソーシャルワーカーの方から問い合わせのご連絡を頂くこともあり、直接顔が見えなくとも研修での暖かく迎えて下さった様子を思い出し、安心感を得ることができました。研修でお世話になった初任者の方々、講師の方々に改めてお礼申し上げます。この研修を踏まえ、これからも勉強に励み、より一層精進していきたいと思っております。

岡波総合病院 患者サポートセンター 井上茉莉さん

4月に入社し全3回の初任者研修を受講しました。研修では、日本における医療ソーシャルワーカーの成立や社会保障制度、記録の書き方、チーム医療、支援方法論など多くのことをご教授いただきました。今回の受講は私にとって、大学で学んだことを思い出したり自身の日々の支援を振り返る時間にもなりました。転院支援一つにしても、自信をもって相手の病院のワーカーに患者様を紹介できるようにまずは、患者様がどのような想いで今入院されているのか話を伺い、言葉の裏にどのような想いがあるのかと思いを巡らせたいと改めて感じました。

また、日々支援を行っていると、自身の知識の乏しさや視野の狭さを実感します。これから、一人ひとりの患者様の対応をさせていただくことで経験を積み、知識を蓄え、ソーシャルワーカーとしての自分を成長させていきたいです。

三重大学医学部附属病院 総合サポートセンター 鳥居春花さん

専門基礎研修 オンライン開催

【日頃の業務と発表を結び付ける方法】

日時：8月26日(土) 13:30~16:30

講師：日本福祉大学 准教授 林祐介氏

【MSWの業務マネジメントを考える研修】

日時：9月10日(日) 13:30~16:30

講師：日本福祉大学 教授 保正友子氏

勝田台病院 倉岡真希氏

千葉大学医学部附属病院 市原章子氏

名寄市立大学 榊原次郎氏

【在宅医療の実践】

日時：10月30日(月) 18:00~19:30

講師：みえ在宅医療クリニック 院長 門間文彦氏

【MSWが知っておきたい法律知識

法テラスを活用した多重債務者支援】

日時：1月15日(月) 18:00~19:30

講師：四日市市中央法律事務所 弁護士 東幸太郎氏



初任者研修(11/11)



日頃の業務と発表を結び付ける方法



スーパービジョン研修



MSWの業務マネジメントを考える研修

スーパービジョン研修

日時：11月18日(土) 13:30~16:30

場所：四日市市文化会館

講師：ソーシャルサポートセンター名古屋

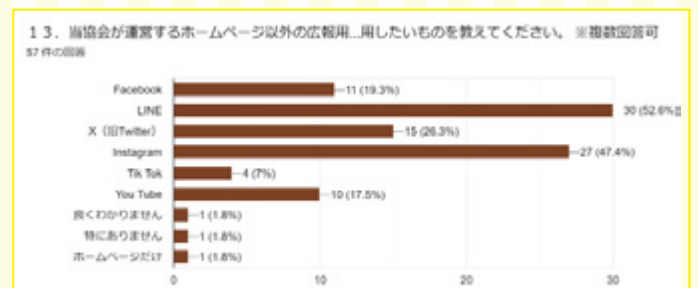
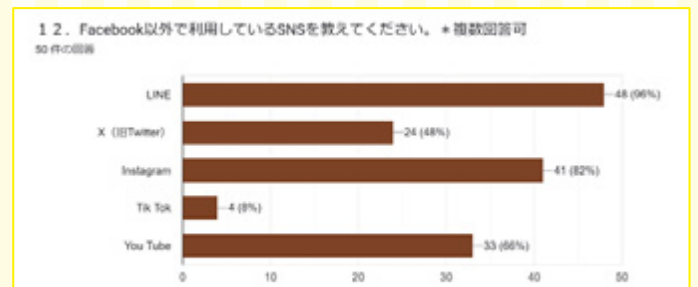
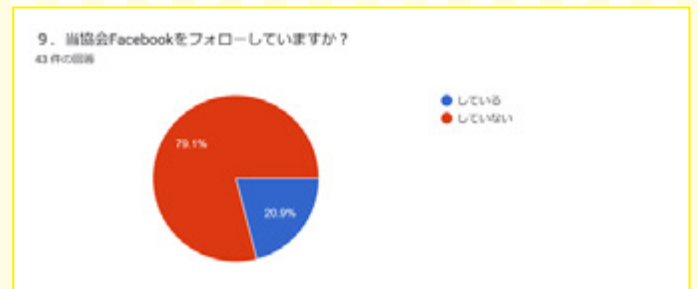
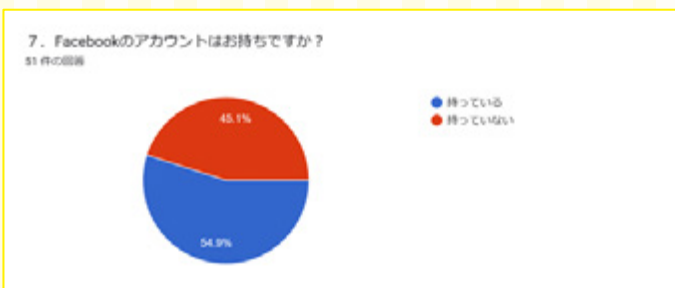
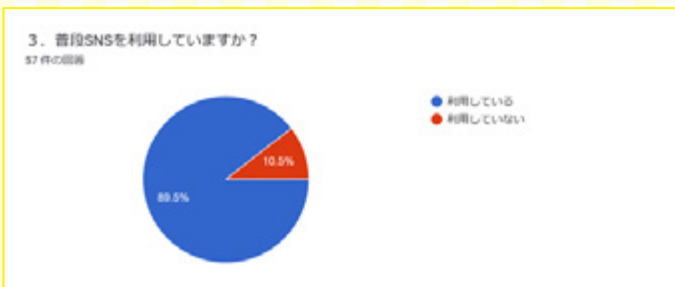
浅野正嗣氏

2023年度三重県医療ソーシャルワーカー協会 SNSについてのアンケート 集計結果

先日はSNSについてのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。抜粋ですが、アンケート結果をご報告させていただきます。

今回の結果でFacebookの利用者が少ないことが分かり、協会としてSNSを利用した運営を見直す必要が示唆されました。2025年の日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会in三重の開催も見据えて、会員の皆様をはじめ、あらゆる方面へ様々な情報をお届けできるよう、利用しやすいSNSツールを検討していきたいと思っております。

引き続き、協会ニュースを含め広報部の活動に関してご意見ご要望がありましたら、事務局までご連絡ください。よろしくお願い致します。



病院紹介 《いしが在宅ケアクリニック》

第14回目は、いしが在宅ケアクリニックからの報告です。

クリニック紹介

いしが在宅ケアクリニックは四日市市北部に位置し、24時間、365日、在宅療養を支援する診療所です。2009年7月に開設されました。

スタッフは2024年1月現在、医師16名、看護師16名他、総勢68名、医療ソーシャルワーカーは3名です。

訪問エリアは図の通りです。R6.4月鈴鹿に分院を開設し、訪問範囲が広がる予定です。2023年の新規訪問患者数は745名、在宅看取り数469名です。

クリニックにおけるソーシャルワーク業務

さて、在宅クリニックでMSWはどんなことをしているのでしょうか？ある日の1日をご紹介します。

| | |
|-------|---|
| 8:00 | 全体ミーティングのあと、新規患者について主治医や看護師と情報交換。 |
| 8:45 | 相談外来に同席。その後、家族と面談。 患者さんや家族の意向、心身の状況や社会的状況、在宅サービスの利用など確認。訪問診療の契約を行う。 |
| 10:30 | A急性期病棟のMSWから、高齢の心不全患者さんでできるだけ早く自宅に帰りたいとの相談あり。 翌日の相談外来の調整をする。 |
| 11:00 | 慌てた様子のご主人より電話あり。がん末期の奥様が1週間前より食事を食べず、痛みも強くなってきたと。痛み止めを飲んで吐いてしまうため、かかりつけの病院に相談したところ、訪問診療を紹介されたとのこと。緊急性があると判断し、急遽、午後から訪問することに。 |
| 13:00 | 介護保険も未申請のため、急ぎケアマネジャーを手配し、医師・看護師より一足先に自宅へ。 訪問診療の要領を説明し、訪問看護の利用も調整。 訪問診療を終える頃には夫にも少し安堵の表情が見られ、“すぐに来てもらえて良かった”、“これからはいつでも連絡できるから安心した”と言ってもらえ、胸をなでおろす。 |
| 15:00 | B病院にて退院時カンファレンス参加。難病で人工呼吸器装着中の2歳の小児患者さん。B病院と併診しながら訪問診療予定。カンファレンスには訪問看護の他、市の児童関係課の担当者も参加。 |
| 17:00 | クリニックに戻る。 |

いしが在宅ケアクリニック
訪問診療可能 エリア
令和6年4月1日現在

訪問診療可能

- 四日市市(水沢・小山田・内部・河原田・橋地区以外)
- 桑名市(旧桑名市)
- 菟野町全域
- 朝日町全域
- 川越町全域

訪問診療不可

- 桑名市(旧長島町・旧多度町)
- 鈴鹿市(栄・合川・天名・国府・牧田・庄野・井川・加佐登・石薬師・深伊沢・久岡田・橋・鈴懸・庄内地区)

訪問診療可能エリアはクリニックより車でおよそ30分以内とさせていただきます。詳しくはお問い合わせください。

交通費はいただいておりません。

その他、療養中に生じる社会的問題、たとえばレスパイト入院の調整や、身体障害者手帳、傷病手当や障害年金といった経済的な問題の相談に対応することもあります。



家族との面談



連携室のメンバー
向かって左から、
長谷川、吉川、片受



栄養士さん手作りの
美味しいランチ

ソーシャルワーカーとしての今後の課題

在宅の現場では生活の一部として『医療』があるとつくづく思います。人生の最終段階に関わることも多く、ご本人の人生観や価値観に寄り添うことを心掛け、またそれを院内外の多職種と連携し、情報の共有をはかるように努めています。

今後の課題としては、個別支援の充実と、地域の中に根付き、住民の方に活用していただく拠点となるよう、地域啓発なども行っていけたらと思います。

在宅医療分野というものが、MSWの働く現場としては比較的新しく、MSWとして何をすればよいか日々迷い、手探りの毎日ですが、ぜひ、皆さん、一度見学にお越しください。特に木曜日は栄養士さんが、カフェ顔負けの美味しいランチを手作りしてくれますので、お勧めですよ！！

(文責:MSW吉川)



医療法人 SIRIUS
いしが在宅ケアクリニック

〒512-8048 三重県四日市市山城町 749-37
電話：059-336-2404 FAX：059-336-2405

▶▶ 次回は、津生協病院からの報告を予定しています。
お楽しみに。

石川県避難所支援活動報告

日本医療ソーシャルワーカー協会からの派遣依頼を受け、所属機関の承諾を得て3月上旬の5日間、1.5次避難所での支援活動に参加してきました。

金沢市にある《いしかわ総合スポーツセンター》内に、自立している方中心の「メイン」エリア、老健入所レベルの方中心の「サブ」エリア、特養入所レベルの方中心の「マルチ」エリアが設置され、次の行き先が決まるまでの生活場所になっています。

※現在マルチエリアはサブエリアと統合され廃止。

MSW協会の主な業務内容(3月5日時点)は、

- ①受診・搬送支援
- ②介護保険主治医意見書下書き作成支援
- ③新規入所者アセスメント
- ④長期入所者支援

などとなっており、石川県MSW協会の皆さんと全国から派遣されてきたMSWが協力しながら活動しています。

入所が長くなると、特に高齢者はADL低下や新たな疾患が出現するケースがあります。避難所でも、普段から地域、福祉、医療と関わるMSWはとても重要な社会資源であることを実感しました。

滞在が有期限ということもあり、私たちができることは限られますが、被災された方が自ら生活を立て直すことができるよう、今後もMSWとしてできることがあれば行動したいと思います。

三重県も今後大災害が起こる可能性が高いと言われています。どんな課題が出現するかはその時でないと分かりませんが、MSWの力は必ず求められるので、その時のためにも災害について学び続けたいと思いました。

(施設内写真は伊藤隆博氏提供)

文責:小坂絵里加



今後の研修・イベント案内

■診療報酬改定研修会

3月30日(土) / 13:00~14:30

『厚生労働行政の動向と診療報酬改定』

※岩手県医療ソーシャルワーカー協会との共催になります。

※zoomでのオンライン研修になります。

■令和6年度三重県MSW協会総会

5月18日(土) 調整中

※対面での開催を予定しています。

*詳細については協会から届くご案内を参照してください。ご参加お待ちしております。

編集後記

2024年は能登半島地震に始まり、大変な幕開けとなってしまいました。犠牲となられた方に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。毎日テレビなどで伝えられる惨状にただただ言葉を失います。そんな中、いち早く被災地で頑張っておられる方々には敬意と感謝しかありません。必ず来ると言われている南海トラフ地震のことを考えると、とても他人事とは思えません。"備えあれば憂無し"と言いますが、どんな備えをすれば憂がなくなるのでしょうか。あのような大きな災害を前に見慣れた故郷の景色が一瞬にして失われ、最愛の家族が犠牲になり、悲しみに暮れる方々を目にすると考え込んでしまいます。依然として予断を許さない状況が続いていますが、被災地域の皆様の安全確保、そして一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

担当:小坂・松田

編集・発行 三重県医療ソーシャルワーカー協会
ホームページ <http://www.mie-msw.com/>
事務局 小山田記念温泉病院
〒512-1111 四日市市山田町5538-1
☎059(328)1260

